

## 平成28年度 公の施設目標管理型評価書【歴史博物館, 旧新潟税関庁舎等】

施設名	新潟市歴史博物館, 旧新潟税関庁舎等		
管理者名	(公財) 新潟市芸術文化振興財団	指定期間	平成28年4月1日 ~ 平成33年3月31日
担当課	歴史文化課		
所在地	新潟市中央区柳島町2-10ほか		
根拠法令	博物館法, 文化財保護法		
設置条例	新潟市歴史博物館条例, 旧新潟税関庁舎等管理条例		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新潟市歴史博物館 敷地面積 22,769.23㎡(旧新潟税関庁舎等含む) 施設 博物館本館(延床面積5,508.30㎡)：常設展示室, 企画展示室, 体験の広場 他 登録文化財旧第四銀行住吉町支店(延床面積919.50㎡) 屋外施設：広場, 堀, 園路, 駐車場他</li> <li>○ 旧新潟税関庁舎等 施設 重要文化財旧新潟税関庁舎(延床面積393.38㎡), 石庫, 史跡旧新潟税関</li> </ul>		

施 設 設 置 目 的
新潟市域の歴史的特性を明らかにし, 市民の歴史に対する理解を深めるとともに, 歴史を媒介とした市民交流を行うことにより, 市民の社会的活動及び文化的活動に寄与することを目的として設置する。

管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 , 方 針 等
<p>1. 基本理念 資料の収集・保存や調査・研究によって新潟市の歴史的特性を明らかにし, 展示や普及活動を通じて情報を発信する。そして, 市民とともに地域認識を深め, 市民に歴史や文化を題材とした多様な活動の機会や場を提供する。また, 市民や利用者が, 地域や博物館の情報や歴史資料に対して抱く疑問や意見について受け止め, 博物館を市民や利用者との情報交換や交流を通じて新たな歴史を発見する場とする。</p> <p>2. 管理運営方針</p> <p>①新潟市域の歴史的特性を明らかにする。</p> <p>②市民の歴史に対する理解を深める。</p> <p>③歴史を媒体とした市民交流を行う。</p> <p>④市民の活動に寄与する。</p> <p>⑤文化財を保存・活用する。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	年間入館者数	博物館本館への年間入館者数 105,000人以上	93,652人	C	旧新潟税関庁舎の工事に係る閉鎖等の要因があり達成できなかったが, 開港150年へ向け, 整備後の税関庁舎の活用や, 幅広い層へ向けた企画展等を開催することで目標を達成してほしい。
	企画展事業の実施	館オリジナルの企画展を年4本以上実施	年6本実施	A	自主事業及び特別展示を実施することで, 目標を上回る回数の実施ができた。
	教育普及事業の実施	歴史に関する講演・講座等を年20回以上実施	39回実施	A	
		体験プログラムを年50件以上実施	71回実施	A	
施設普及事業の実施	収蔵資料の公開を年1回以上実施		年1回実施	B	年3回の計画のうち, 雨天中止が1回あったため達成できなかった。
	近隣地域と連携した普及活動を年3回以上実施		年2回実施	C	

市民	学校との連携	小中学校の施設見学への対応を年120回以上実施	81校	C	学校数の減少や市内の他施設の増加により見学希望が減少し、目標の達成に至らなかった。
	歴史文化事業の情報発信	ホームページを月3回以上更新し、情報発信を行う	トピックス月平均5回更新	A	企画展情報や講演・講座・体験プログラム・イベントの実施報告等を中心に更新が行われた。
		展示図録を年2回以上発行	第四国立銀行展、近世黎明展の図録を発行	B	
		博物館だよりを年3回以上発行	年3回発行	B	
		研究紀要を年1回発行	年1回発行	B	
	来館者アンケート満足度	来館者に対するアンケートで、「良い」「とても良い」が70%以上	90.8%	A	企画展内容を工夫したり、来館者へきめ細やかに対応したことにより達成できた。
	市民からの問合せに対する対応	歴史に関する質問・問合せ年100件以上対応	年130件以上（ライブラリー130件ほか電話・メール等対応あり）	A	内外の問い合わせに対し、専門的に対応し、本市の基幹施設としての機能を果たしている。
	苦情・要望に対する対応	来館者からの苦情・要望に対して、3営業日以内に回答	受付・電話ではその場で対応し、メールでのものに対しても即日対応した	A	迅速に対応している。
	その他	博物館ファンクラブ会員数を150人以上	147名（H28.9.30時点）	C	館長講座等で案内し、周知を図っているが、目標は達成できなかった。
		博物館ファンクラブ会員の活動件数を年7件以上実施	企画展解説4回、ファンクラブ向け講座1回、館長バスツアー1回、まちあるき1回、館長講演会1回	A	積極的に活動を企画し、目標を達成できた。
財務	管理経費の縮減	管理経費を指定管理料年度協定額以下	指定管理経費の物件費189,200,092円	A	経費の節減につとめた。
	市の歳入の安定確保	歴史文化事業費の執行額に占める観覧料等収入の割合35%以上	50.00%	A	経費をおさえ、歳入増に努めた。
業務	他施設との連携	他施設との協議や資料収集・借用などの連携回数を年15回以上実施	企画展等を通じて市内他施設と連携し、回数は17回となった。	A	指標を超える回数実施した。
	日常連絡の適切さ	市との連絡会議月2回以上参加	月2回以上参加	B	
		3か月毎の管理業状況報告の期限内提出	期限内に提出	B	
	安全確保体制の確立	防火管理者の選任及び防災訓練を年2回以上実施	年2回実施	B	
	文化財の適正な管理	条例、規則、協定に基づく適正な管理の実施	実施した	B	
		旧新潟税関庁舎等管理条例施行規則に基づく監守業務の適正な実施	実施した	B	
	歴史資料の適正な管理	施設内でのくん蒸を年1回以上実施	年2回実施	A	目標を上回るくん蒸回数を実施し、良好な状態での資料保存に努めている。
展示室収蔵庫内の温湿度の定期調査を実施		毎日実施	B		
施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の年1回実施	年1回実施	B		
	施設設備関係の各種法定点検の確実実施	消防法、建築基準法等にかかる法定点検を実施	B		

	事件・事故発生時の対応の適切さ	マニュアル・連絡網の定期的な見直し（半期に1回）	マニュアル・連絡網は適宜見直しを行った	A	事故発生時の対応は迅速であり、市への報告も速やかに行われている。
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守した	B	
人 材	配置人員条件の充足	学芸員有資格者を7人以上配置	8人配置	A	指標以上の人員を配置
	職員研修の実施	専門員及び事務職員に対する研修を年6回以上実施	年6回実施	B	
	接遇マナーの維持・向上	受付職員等への接遇研修を年1回以上実施	3/10実施	B	

#### 指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）

28年度は6月に自主事業「歴史発見プロジェクト」の財源を使った企画展を1本増やし、入館者数増に貢献したものの、旧新潟税関庁舎を耐震工事の関係により休館したため、年間入館者数は達成できなかった。

また、日々、市民からの問い合わせに対応するだけでなく、マスコミにも情報提供し、28年度はNHK「プラタモリ」のシナリオ作成にも協力した。博物館業務の調査研究・資料整理の成果が全国に新潟の魅力を発信することに役立っている。

業務面では、市民が安心して利用できる施設であることに努めたが、今後も施設を良い状態で保てるよう、所管課と連携しながら施設の修繕を実施し、人材面ではよりよい人材が育つよう研修を怠らず、いずれの面でも博物館の未来を考えつつ運営していきたい。

#### 所管課による総合評価（所見）

新潟市歴史博物館は、新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めるとともに、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与している。

旧新潟税関庁舎の工事による休館等の影響で入館者数は昨年よりも減少したが、題材に工夫した企画展を開催するなど、集客のための努力を行っている。

また、文化財の調査や保存、内外からの様々な問い合わせに対する調査・回答を行うなど、新潟市の歴史文化の基幹施設としての役割を果たしている。

財務面では自主事業や補助金を利用した企画展の開催等により経費節減に努めた。

施設の老朽化が進んでいることから、安全面には特に注意し、適正な維持管理を行ってほしい。

今後も引き続き、特色ある企画展の開催や講演・講座の開催、市民交流の場を提供するなど、市民文化の向上と地域の活性化に役立ってほしい。

#### 評価基準

- A 要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準（＝評価指標）が達成されている。
- C 要求水準（＝評価指標）が達成されていない。